

作者：Administrator

2013年 12月 13日(金曜日) 15:51 - 最終更新 2013年 12月 13日(金曜日) 15:58

夕風肌寒く身にしむ11月30日(土)、仁賀保駅の現地集合にて「地区探訪第3弾」を開催いたしました。時節柄、突然の風邪などにより2名の欠席者を出してしまっただものの、総勢14名の“つわもの”が集合し、親交を深めました。



まず、由利地域の雄 TDK 株式会社が設立した「TDK 歴史館」にて、千崎久男館長よりフェライト開発初期から現在に至るまでの技術の進化、「2 勝 98 敗の人」と称された創始者齋藤憲三氏のご苦労などについて説明を受け、参加者全員それぞれが感銘を受けたなか、50 代の一部会員はあまりにも難解な内容に知恵熱を発した次第であります。

なお、本来は休館日ではありましたが、当部会の佐藤誠地区部会長の豪腕により入館が可能となったことを申し添えさせていただきます。

(館長の千崎氏に感謝。)

その後、旧金浦町の「白瀬記念館」に移動。白瀬轟(のぶ)氏の南樞探検の足跡はもとより、帰国後には夫婦で借金返済に奔走されたことなど、偉業のみならず、知られざる大変な人生であったことを目の当たりにした一行でした。



さて、視察研修による脳みその活性化が図られたのち、道の駅象潟「ねむの丘」にて「ひとつ風呂」を浴び、さて本番(懇親会)であります。佐藤部会長の挨拶の後、菅井幹夫秋田支部長の乾杯の音頭でスタート!!.....



最初のうちこそ、「私はビールで」、「焼酎は薄めで」とのこと、学校・友人、政治・経済、仕事など健全な話に花が咲いておりましたが、やはりさすがは北光会! 締めはやはり日本酒。あまり詳細な内容は申し上げられませんが、このあとは若き日の思い出や“男同士の会話”も含め、大いに盛り上がったことは言うまでもありません。そうこうするうちに、楽しい時間はあっという間に過ぎ去り、一同、再会を約束(確約)して、帰途につくこととなりました。

次回、第4回「地区探訪」への多くの北光会員の参加を心から祈念し、筆を置かせていただきます。

文責：本荘・由利地区部会理事 鎌田正廣

象潟道の駅 ねむの丘



菊地 宏 (MS43) 佐々木 肇 (CS58) 佐藤 允 (GS36) 菊地昌美 (BS57) 鎌田正廣 (CS57) 佐藤俊克 (MS52) 萩原正夫 (BS38) 越後谷康作 (MS41) 前田秀樹 (MS52)
眞嶋 寛 (MS38) 佐藤 誠 (MS31) 菅井幹夫 (FS40) 小松文雄 (BS29M) 成田裕一 (ES29)

以上、14 名